

第4次千葉県住生活基本計画の概要

計画期間

令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

理念

千葉の未来を切り開く！ 豊かな住生活
～社会の変化や多様化する価値観に対応した豊かな地域社会と住まいの実現～

総合目標

「県民の豊かな住生活の実現」

重視するテーマ

- 地域の魅力を生かした、多様なライフスタイルの実現
- 自然災害に備え、安全に暮らし続けることのできる地域づくり
- 安定して住まいの確保が図られ、安心して暮らし続けられる地域社会づくり
- 脱炭素社会への転換を目指した質の高い住宅ストックの構築

3つの視点：「社会環境の変化」 「居住者・コミュニティ」 「住宅ストック・産業」

改定の視点	住生活基本計画（全国計画） (令和3年3月)	第4次千葉県住生活基本計画 (令和4年11月)
社会環境の変化	目標1 「新たな日常」やDXの進展等に対応した新しい住まい方の実現	目標1 新たな日常に対応した住まい方の実現
	目標2 頻発・激甚化する災害新ステージにおける安全な住宅・住宅地の形成と被災者の住まいの確保	目標2 自然災害に備えた安全な住まいづくり
居住者・コミュニティ	目標3 子どもを産み育てやすい住まいの実現	目標3 若年・子育て世帯が安心して暮らせる地域社会づくり
	目標4 多様な世代が支え合い、高齢者等が健康で安心して暮らせるコミュニティの形成とまちづくり	目標4 高齢者が安心して暮らせる地域社会づくり 【千葉県高齢者居住安定確保計画】
	目標5 住宅確保要配慮者が安心して暮らせるセーフティネット機能の整備	目標5 住宅確保要配慮者が安心して暮らせる地域社会づくり 【千葉県賃貸住宅供給促進計画】
住宅ストック・産業	目標6 脱炭素社会に向けた住宅循環システムの構築と良質な住宅ストックの形成	目標6 脱炭素社会に向けた良質な住宅ストックの形成と適切な維持管理
	目標7 空き家の状況に応じた適切な管理・除却・利活用の一体的推進	【千葉県マンション管理適正化推進計画】
	目標8 居住者の利便性や豊かさを向上させる住生活産業の発展	—

■地域別の方針

東葛・ 湾岸 ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 東京都心に隣接する特性を活かし、多様な住まい方・働き方の実現、若年・子育て世帯の定住促進 増加、多様化する住宅確保要配慮者への支援の充実 マンション管理の適正化や地域コミュニティの活性化による団地再生 など 	<p>※ ← → 主な人・モノ・財の流れ</p>
印旛 ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ニュータウンの都心への良好なアクセスや緑豊かで高質な住環境を活かし、若年層をはじめとする幅広い世代の居住ニーズに対応 大規模住宅団地における脱炭素化の取り組み、歴史的資源の活用と保全、良好な住環境づくり など 	
香取・ 東総 ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特徴である「農」を活かした田園居住の促進 高齢者が住み続けられるような住まいの支援と生涯活躍できる社会の実現 省エネルギー設備の設置など、戸建住宅の性能向上に向けたリフォーム促進 など 	
九十九里 ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然と、都心を含む多方面への良好なアクセスなど、地域の魅力を活かした移住・定住、二地域居住の促進 高齢者や若年層が住み続けられるコンパクトなまちづくりの実現 など 	
南房総・ 外房 ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 温暖な気候や豊かな自然を活かし、多様なライフスタイルを実現できる移住・定住、二地域居住の促進 高齢者が快適な生活を送れるような住環境の整備や頻発する台風など自然災害への備えや多様な空き家の活用 など 	
内房 ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> アクアラインなど、高い交通利便性の優位性を活かした住宅の流通促進 若年・子育て世帯の流入促進と子育て支援による定住の促進 地域コミュニティの活性化による団地再生 など 	

東葛・ 湾岸 ゾーン	千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市
印旛ゾーン	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取・東総ゾーン	銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎町、多古町、東庄町
九十九里ゾーン	芝山町、横芝光町、山武市、東金市、九十九里町、大網白里市、茂原市、白子町、長柄町、長南町、長生村、一宮町、睦沢町
南房総・ 外房 ゾーン	館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町、鋸南町
内房ゾーン	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、市原市

■公営住宅の供給目標量

年収と居住面積水準から見た要支援世帯数（推計）	前期(R3～R7)	全体(R3～R12)
	21千世帯	51千世帯

※ 要支援世帯数とは、公営住宅入居資格世帯数のうち、それぞれの地域の状況に応じ、世帯の困窮度や居住面積水準等を勘案して、公的な支援により居住の安定の確保を図るべき世帯の数

計画期間における公営住宅の供給目標量 ^{※1}	前期(R3～R7)	全体(R3～R12)
	10千戸	20千戸
計画期間における公営住宅以外の活用想定 ^{※2}	16千戸	31千戸

※1 公営住宅の供給目標量は、建設、建替え、既存の空家募集等の戸数の合計

※2 公営住宅以外は、都市再生機構賃貸住宅等の公的賃貸住宅の活用を想定

供給方針

- 公的賃貸住宅等による住宅セーフティネットの機能向上
- ストックを効率的に活用した公営住宅の供給
- 入居者管理の適正化
- 県と市町村との役割分担

県	市町村
広域的な需要への対応	地域的な需要への対応
財政基盤等から主体的な取り組みが困難な市町村との連携・支援	住宅施策に対する主体的な取り組み